ソフトカーム

東邦亜鉛株式会社ソフトカーム事業部

取扱説明書

●木製放射線防護扉(WD タイプ)

●木製放射線防護覗窓(WL タイプ)

※東日本用

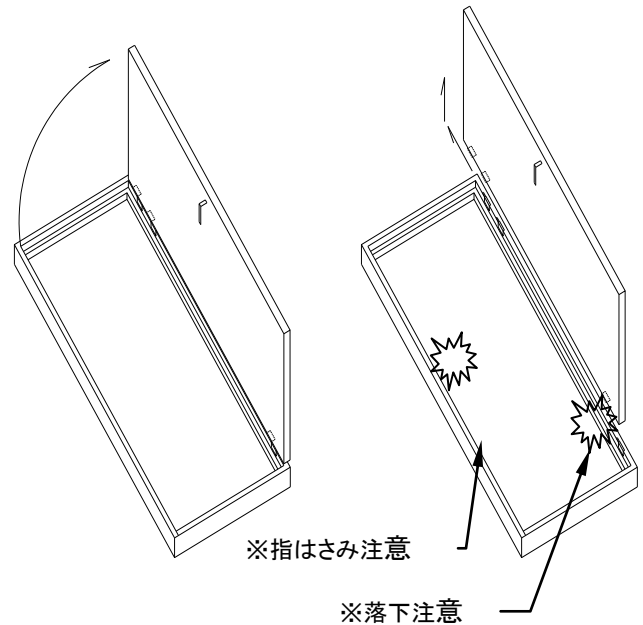
このたびは、ソフトカーム製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。
この建具は、重量のある建具ですので、運搬、保管、取付の際は、本書要領に従い取扱いにご注意願います。

① 運搬・保管について

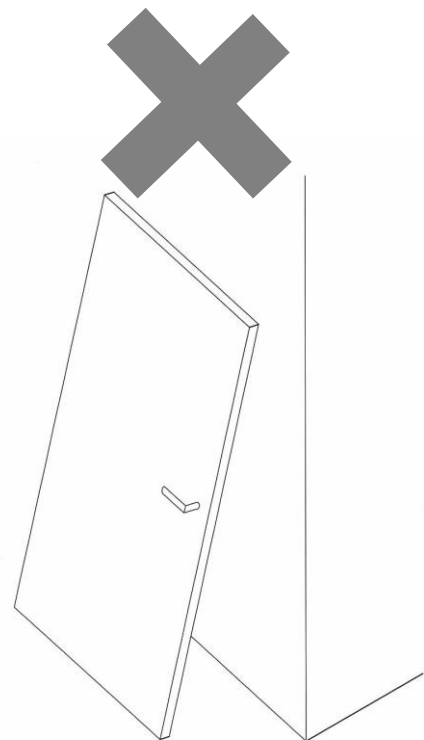
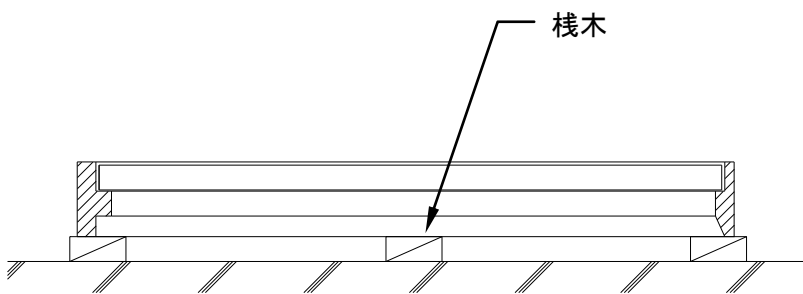
〇運送
　平積みとし、上に重量物を載せないで下さい
〇荷降し
　枠に扉を設置した状態で梱包してあります。梱包状態での移動・荷降しについては、フォークリフトまたは 4～6 人程度でゆっくり手降し願います。
　　※梱包状態の重量　　片開きの場合:約 130kg、親子開きの場合:約 190kg
〇場内運搬
　重量のある建具の為、開梱後の運搬時に製品に傷やへこみが付きやすいため、持ち運びや保管には十分ご注意願います。
　　※開梱後に発生した製品の傷やへこみについては保証いたしかねますので予めご了解願います。

○枠から扉をはずす方法

枠と扉とは 2 管丁番でセットされております。
レバーハンドルを開錠した状態でドアを 90 度開けます。
そのまま扉を扉上方にスライドさせて枠から
扉をはずして下さい。

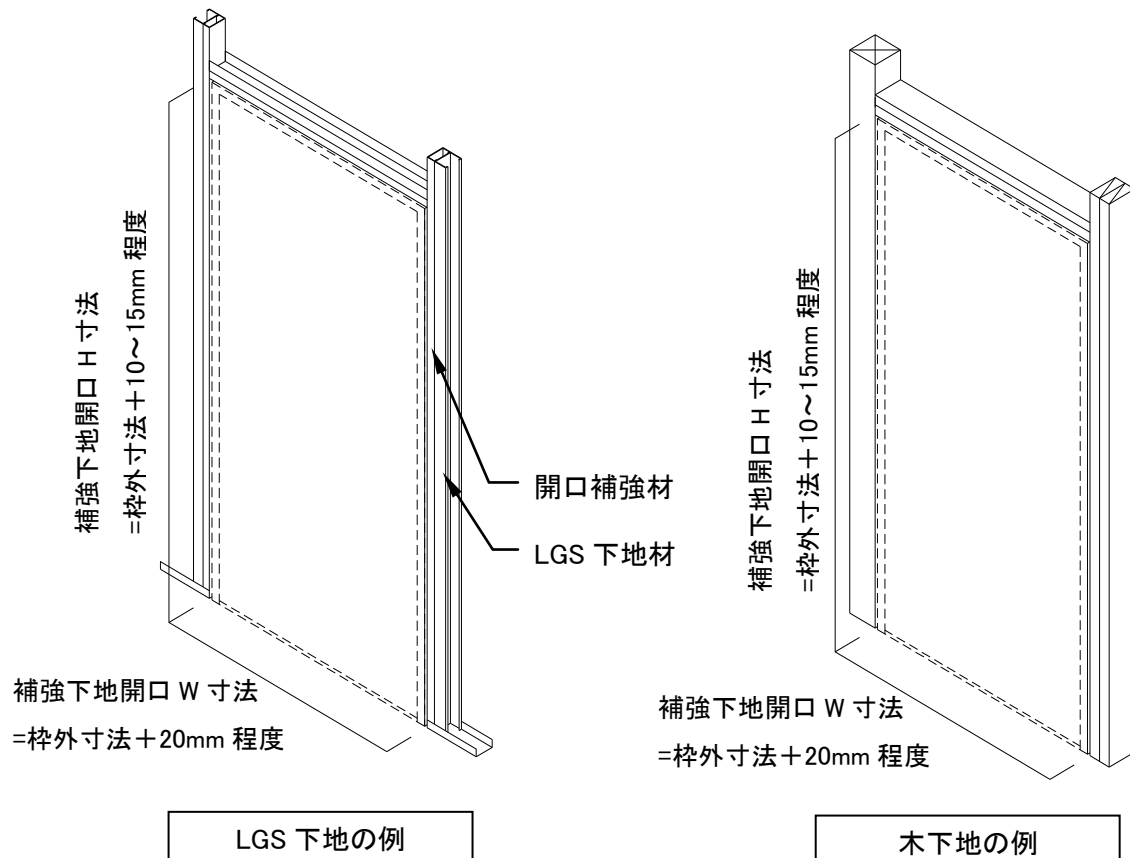
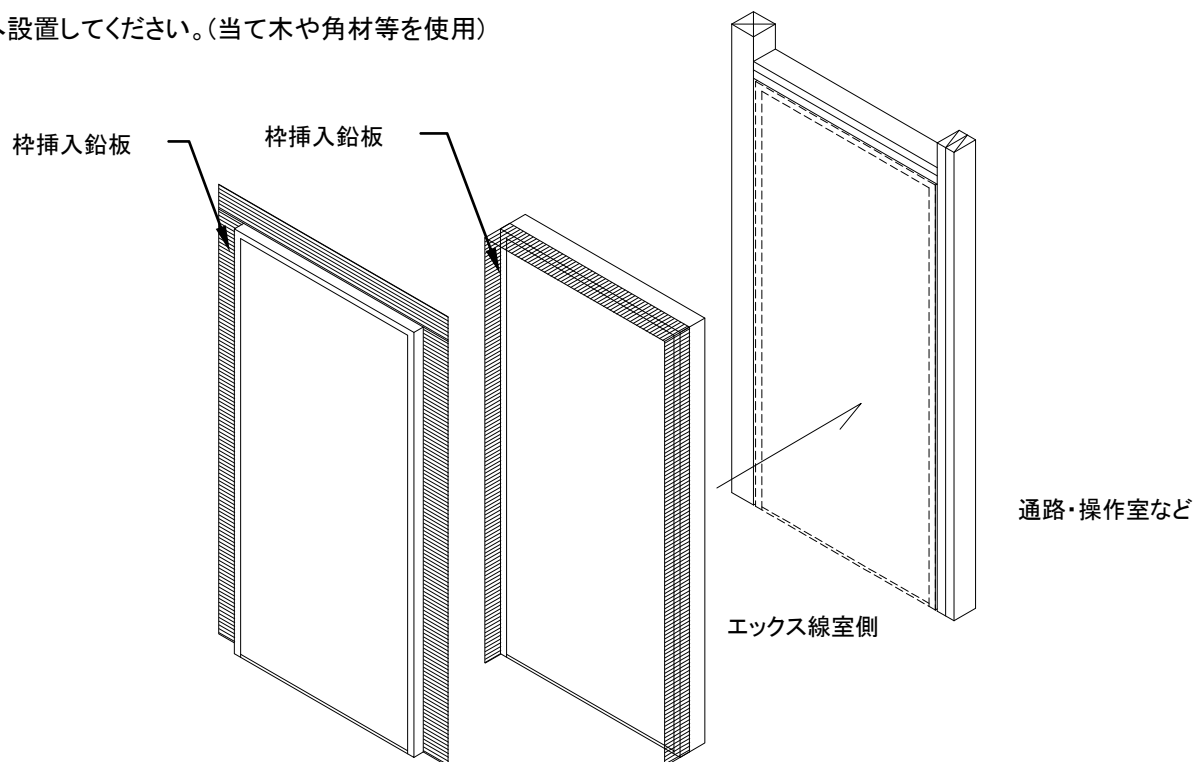
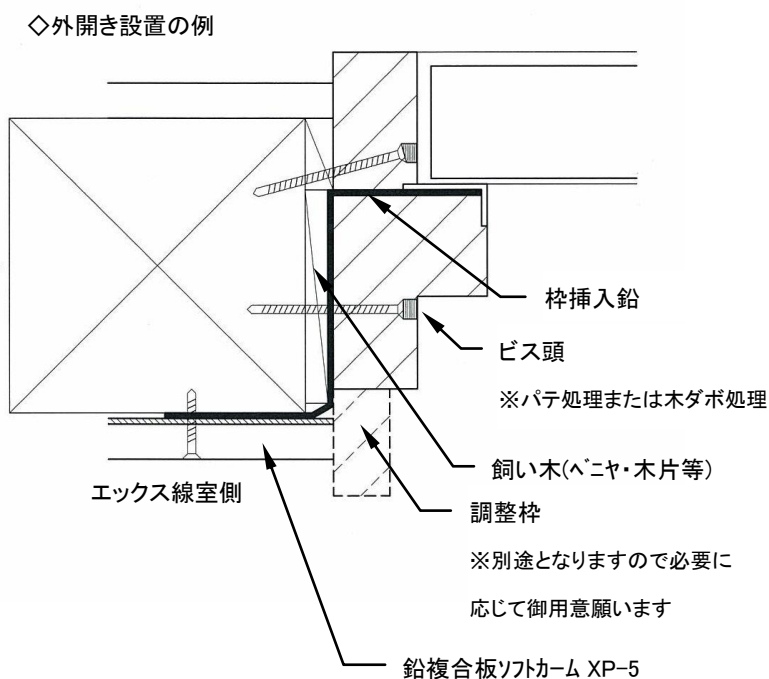
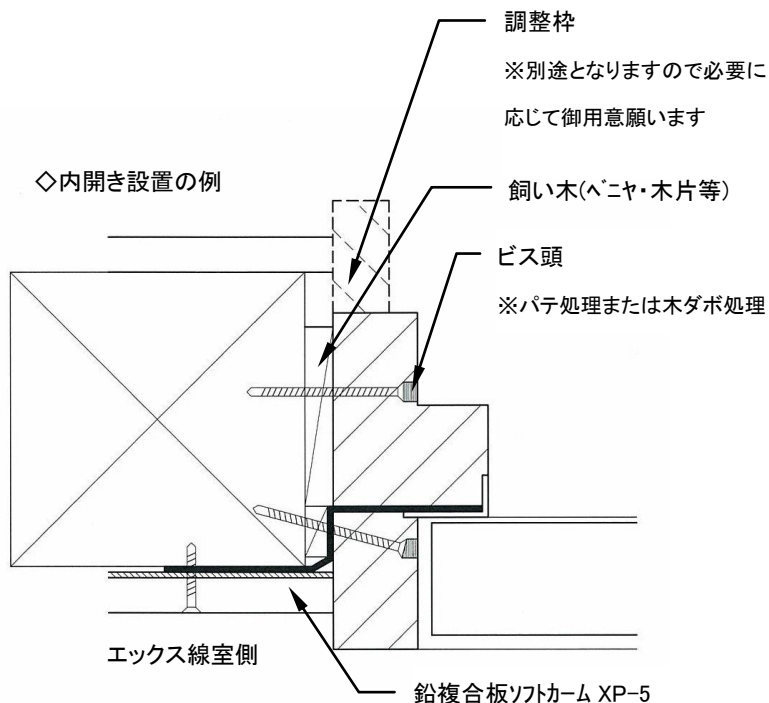
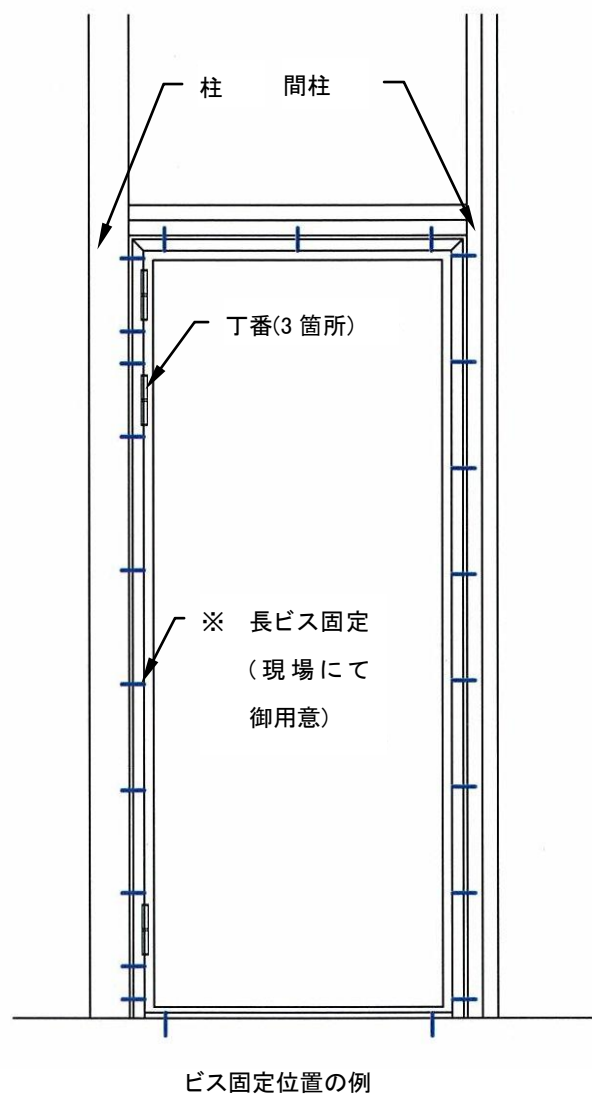
※重量のある扉ですので、3～4 人程度で作業を行い、
足元への落下や指はさみに十分ご注意願います。

○開梱後の保管

温度変化の激しい場所や、湿気の多い場所での保管を避けてください。傷の発生や反りが生じないよう、水平な場所に桟木を 3 本以上敷き、その上に枠及び扉を水平に保った状態で置いて保管して下さい。

※壁面等に立て掛けて保管した場合、反り･歪みの発生や転倒･破損等の事故発生が考えられますので、
行わない様ご注意下さい。

②取付施工について

〇開口部の幅および高さ寸法を、下図を参考に確保してください。

※重量がある扉ですので下地補強を確実に行ってください。(補強材が無い場合や不十分な場合、扉開閉時に枠の歪みや、扉が枠に当たり閉まらない等の影響が発生する場合があります)

※開口寸法が小さい場合、枠内の鉛板の取付け施工が行いにくくなります。

〇開き方向を確認し、枠からはみ出している鉛板を一度伸ばし、その鉛板をエックス室側へ向けるように折り曲げて、下地開口内へ設置してください。(当て木や角材等を使用)

〇水準器や下げ振りを使用して、枠の水平・垂直(左右の傾き)、倒れ(前後の傾き)、枠の湾曲、ねじれ等が無いように確認・調整し、枠と開口下地との隙間を飼い木(ベニヤ・木片等)で固定します。

○枠の内側から長めのビスで枠と補強開口下地とを確実に固定します。

※固定が不十分な場合、扉開閉時において、枠の歪みや扉が枠に当たり閉まらない等の影響が発生する場合があります)

※ビス間隔　300mm 程度　　※丁番の上下位置には確実に留めつけ願います

○枠の固定後、扉を吊り込みます。丁番は、2 管丁番となっていますので枠丁番の上から扉を落とし込み、丁番をはめ込んで下さい。

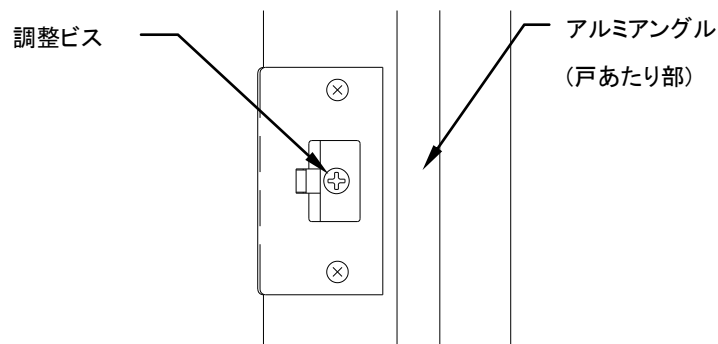
※重量のある扉ですので、2 人以上で作業を行い、足元への落下や指はさみに十分ご注意願います。

※扉開閉時において、枠の歪みや扉が枠に当たり閉まらない等の異常がある場合、枠設置を再度調整・固定して下さい。

○扉吊り込み後、扉と枠との隙間寸法(チリ)や開閉時の歪み等が無いか確認して下さい。

※枠固定が十分であることを確認した後、ビス頭はパテ処理または木ダボ等にて処理願います。

※壁厚が大きい場合は、調整枠を御準備・御取付け願います(枠見込寸法：標準=120mm となっております)。

※扉の閉まりが固い場合やラッチが掛からない場合等は、ストライク部の調整ビスを回す事で調整できます。

○枠取付後、枠挿入鉛板をビス等で仮固定し、壁面の鉛複合板と確実に重なり合うことをご確認願います。

※鉛板の重なりが不十分な場合、漏洩の発生が予想されるため、十分にご確認願います。

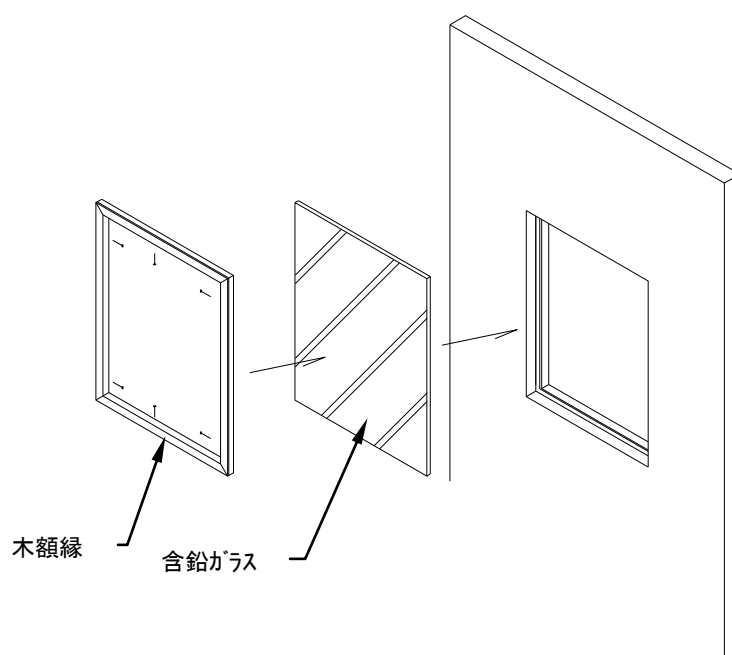
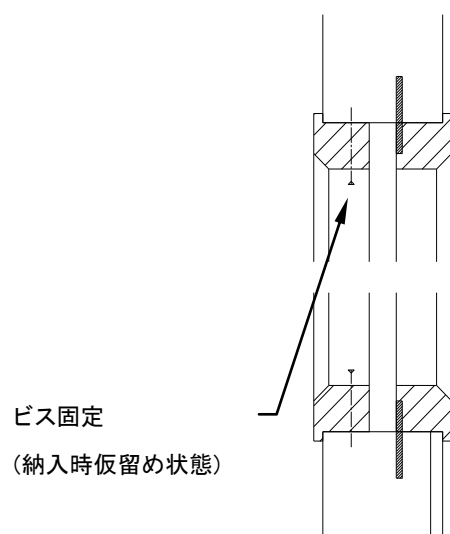
○含鉛ガラスの取付

<WD-2 タイプ(片開覗窓付)の場合>

含鉛ガラスの厚さをご確認下さい(※積層品(LX プレミアム)の場合 ： 鉛 1.5mm 当量→ ガラス厚 t=12mm、鉛 2.0mm 当量→ガラス厚 t=14mm)

押縁の仮留めされているビスを全て緩めて外し、押縁を片側のみ外します。

含鉛ガラスが出来るだけ中央になるように設置し、外した押縁を再度ビスで固定して下さい。

※含鉛ガラスは建具セットに含まれていますが、基本的に「別便・別梱包」にて納入しております。

○覗窓：WL タイプの枠の取付及び含鉛ガラスの取付について

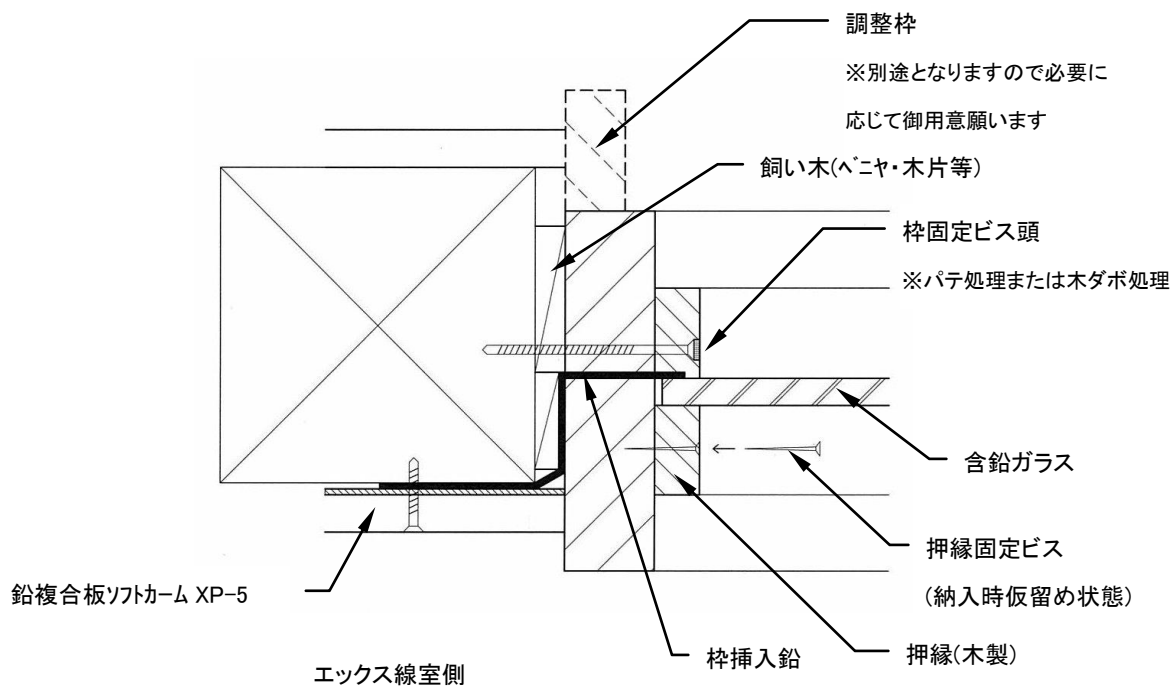
補強下地の開口寸法は、枠外寸法より左右(W)・上下(H)とも＋20mm 程度大きくしてください。

枠は水平・垂直・倒れ・ねじれ等に注意し、枠と開口下地との隙間を飼い木(ベニヤ・木片等)で固定した後、開口補強材に長めのビスで固定します。

枠取付後、枠挿入鉛板をビス等で仮固定し、壁面の鉛複合板と確実に重なり合うことをご確認願います。

※鉛板の重なりが不十分な場合、漏洩の発生が予想されるため、十分にご確認願います。

含鉛ガラスの厚さ(※積層品(LX ﾌﾟﾚﾐｱﾑ)の場合 ： 鉛 1.5mm 当量→ガラス厚 t=12mm、鉛 2.0mm 当量→ガラス厚 t=14mm)を確認し、仮留めされているビス及び押縁を外し、含鉛ガラスを出来るだけ中央になるように設置し、外した押縁を再度ビスで固定して下さい。

※含鉛ガラスは建具セットに含まれていますが、基本的に「別便・別梱包」にて納入しております。

③その他

〇建具の設置位置、保管、仕上方法にご注意下さい。
※木製の建具である為、使用条件によって扉に反り発生や剥がれ等の原因となる可能性があります。このような現象を出来るだけ抑えるため、下記のような設置・保管・加工等はあらかじめ避ける等、ご注意・ご確認下さい。

・温度差の激しい場所への設置や保管 （直射日光の当たる場所や、エアコン・暖房器具等の風が当たる場所、室内外で温度差の激しい場所など）
・湿度の大きい場所への設置や保管
・扉面の表と裏との仕上方法の違いや加工、時間差のある仕上処理
・特注寸法にて製作した場合(特に標準規格寸法以上もの)

〇風の強い場所などへの設置は、重量のある扉のため、急激な開閉やあおられた場合に非常に危険です。必要に応じてドアクローザーやドアストッパー、戸当り等を御手配・御取付け願います。(製品には含まれておりません)

●商品改良のため、使用及び外観等は予告無しに変更することがありますので、ご了承下さい。
●鉛板等は、リサイクル処理または産業廃棄物として適法に処理願います

お問い合わせ

東邦亜鉛株式会社 ソフトカーム事業部
●東京本社
〒103-8437 東京都中央区日本橋本町 1-6-1
TEL:03-3272-5625 FAX:03-3271-0109

2011.04-500(N)